

県政モニターアンケート：花の消費・拡大について

(農林水産部 園芸振興課)

【調査の目的】

各世代の花購入状況（購入目的、購入金額）を把握することで、花が好きな県民を増やすための効率的なアプローチ手法の参考とし、有益な事業執行、施策立案に繋げるもの。

① 回答状況

365名より回答があり、地区別では福岡地区からの回答が過半を超える。全体の男女構成は、ほぼ同じ割合である。また、年齢構成は、18～19歳を除き、概ね10～20%となっている。

地区	年代	女性	男性	その他	総計	割合
1 福岡		97	92	1	190	52%
	18～19歳	5	1		6	
	20～29歳	8	12	1	21	
	30～39歳	16	14		30	
	40～49歳	19	20		39	
	50～59歳	18	16		34	
	60～69歳	18	21		39	
	70歳以上	13	8		21	
2 北九州		50	39	2	91	25%
	18～19歳	1	1		2	
	20～29歳	7	2		9	
	30～39歳	8	9		17	
	40～49歳	11	7	2	20	
	50～59歳	8	7		15	
	60～69歳	14	7		21	
	70歳以上	1	6		7	
3 筑豊		14	13		27	7%
	20～29歳	3	1		4	
	30～39歳	3	1		4	
	40～49歳	2	3		5	
	50～59歳	2	1		3	
	60～69歳	4	5		9	
	70歳以上		2		2	
4 筑後		30	27		57	16%
	20～29歳	4	4		8	
	30～39歳	4	6		10	
	40～49歳	6	6		12	
	50～59歳	8	4		12	
	60～69歳	3	2		5	
	70歳以上	5	5		10	
総計		191	171	3	365	

② 花を購入する目的、金額

花を購入する目的は、「お祝い事、贈答のため」(回答数 135) が最も多く、以下、「仏壇やお墓に供えるため」(回答数 69)、「玄関、リビング等、自宅に飾るため」(回答数 56)、「ガーデニングや生け花等を楽しむため」(回答数 49) の順に多い。

一方、「花を買うことはない」も一定数回答(回答数 56)があった。

また、一人当たり年間購入金額は、平均 8,743 円であり、18～19 歳代が平均 1,625 円と最も少なく、60 歳代が 11,885 円と最も多かった。20 歳代以上では、40 歳代で 7,442 円が最も低かったものの、総務省「家計調査」における世帯あたりの切花購入額(福岡市：5,682 円/世帯)と比較し、高い金額であった。

年間購入金額の男女比較においては、男性平均 9,405 円、女性平均 8,161 円と男性の方が高かった。

花を購入する目的別での年間平均購入金額は、「お祝い事、贈答のため」が 8,845 円と最も低く、「ガーデニングや生け花等を楽しむため」が 12,918 円と最も高かった。

購入目的	1 玄関、リビング等、自宅に飾るため		2 ガーデニングや生け花等を楽しむため		3 仏壇やお墓に供えるため	
年代・性別	回答数	平均購入額/年	回答数	平均購入額/年	回答数	平均購入額/年
18～19歳			1	5,000	1	5,000
20～29歳	6	10,833	5	11,500	4	5,125
30～39歳	8	11,688	10	8,300	7	5,329
40～49歳	9	8,556	9	9,389	11	8,955
50～59歳	13	10,000	9	16,778	12	10,067
60～69歳	14	13,750	10	20,100	20	15,350
70歳以上	6	8,917	5	10,200	14	11,679
総計	56	10,920	49	12,918	69	10,907
購入目的	4 お祝い事、贈答のため		5 花を買うことはない		総計	
年代・性別	回答数	平均購入額/年	回答数	平均購入額/年	回答数	平均購入額/年
18～19歳	1	3,000	5	0	8	1,625
20～29歳	18	9,944	9	0	42	7,667
30～39歳	28	9,071	8	0	61	7,669
40～49歳	34	8,988	13	0	76	7,442
50～59歳	19	9,053	11	0	64	8,966
60～69歳	23	7,783	7	0	74	11,885
70歳以上	12	8,458	3	0	40	9,238
総計	135	8,845	56	0	365	8,743

花を買わない理由は、「花が高価である」が最も多く、37%を占め、次いで「花に興味がない」で28%あった。また、21%が「花瓶がない」と回答している。その他の理由（14%）として、水替え等の管理が負担、生活必需品ではないものにお金を回す余裕がない等が述べられている。

③ 手ごろな価格（500 円）での花束を販売するイベントへの興味

500 円程度で花束を販売した場合、「ぜひ購入したい」と回答した割合は、26%（96/365）であり、50 歳代では38%と4割近くを占める（24/64）。「ぜひ購入したい」、「購入を検討したい」と回答した割合は、70%を占める（（96+161）/365）。

①にて「花を買うことはない」と回答したものにあつては、「ぜひ購入したい」と回答した割合は、11%であったが、「ぜひ購入したい」、「購入を検討したい」と回答した割合は、45%まで占める。

500円程度での花束販売イベントでの購入意向					
年代・性別	1 ぜひ購入したい	2 購入を検討したい	3 購入しない	4 どちらともいえない	総計
18～19歳	1	4	1	2	8
女性		3	1	2	6
男性	1	1			2
20～29歳	10	14	13	5	42
その他	1				1
女性	4	9	6	3	22
男性	5	5	7	2	19
30～39歳	13	26	12	10	61
女性	7	15	5	4	31
男性	6	11	7	6	30
40～49歳	21	38	12	5	76
その他	1	1			2
女性	10	18	5	5	38
男性	10	19	7		36
50～59歳	24	20	9	11	64
女性	16	9	6	5	36
男性	8	11	3	6	28
60～69歳	21	36	7	10	74
女性	14	17	2	6	39
男性	7	19	5	4	35
70歳以上	6	23	4	7	40
女性	5	11	3		19
男性	1	12	1	7	21
総計	96	161	58	50	365

④ 公共交通機関で花束を持っている人に対する印象

公共交通機関（電車、バス）で花束を持っている人に対しての印象について、自由記載で調査し、記載内容に応じて、「好印象」、「やや好印象」、「やや悪印象」、「悪印象」、「どちらでもない」に区分したところ、「好印象」に区分された割合は60%であった。いずれの年代、性別においても「好印象」の割合が過半を超えている。

自由記載内容

「好印象」：羨ましい。憧れる。癒される。家庭円満。等

「悪印象」：恥ずかしい。荷物になる邪魔。周りに迷惑。等

公共交通機関で花をもって帰る姿への印象						
年代・性別	好印象	やや好印象	どちらでもない	やや悪印象	悪印象	総計
18～19歳	5		1		2	8
女性	4		1		1	6
男性	1				1	2
20～29歳	21		7	2	12	42
その他	1					1
女性	12		4		6	22
男性	8		3	2	6	19
30～39歳	35	3	10	1	12	61
女性	21	1	4		5	31
男性	14	2	6	1	7	30
40～49歳	48	4	10	5	9	76
その他	1			1		2
女性	21	2	6	2	7	38
男性	26	2	4	2	2	36
50～59歳	40	3	9	2	10	64
女性	21	2	5	1	7	36
男性	19	1	4	1	3	28
60～69歳	43	8	9	4	10	74
女性	22	5	6	1	5	39
男性	21	3	3	3	5	35
70歳以上	27	2	3	2	6	40
女性	15	1	1		2	19
男性	12	1	2	2	4	21
総計	219	20	49	16	61	365
	60%	5%	13%	4%	17%	100%

⑤ アンケート結果を活かした今後の対応

花が身近にある暮らしに憧れるものの、日々の生活において、生活費が制限される中、物価高騰のあおりを受け、嗜好品への支出が厳しいとの意見が目立った。しかし、気軽に、手に取れる価格で花束を購入できる機会があれば、利用をしたいとの回答も多く、花を購入しないのではなく、購入し辛いのではないかとと思われる。

このことから、従来の花屋はもとより、駅近くなどで帰宅客の目にとまりやすい販売方法を模索するとともに、500円程度で、気兼ねなく購入できる価格で花束を提供する取組を進めていくことも、本県における花き消費拡大に繋げるための一つの手法であると考ええる。